

# 桜町・花畑の未来探る

大学研究室など意見交換会

桜町・花畑地区再開発終了後の予想  
模型を見ながら語り合う参加者  
熊本市中央区



崇城大などの3研究

室と熊本市は2日夜、  
同市中央区下通のコワ  
ーキングスペース「未  
来会議室」で、再開発  
が進む桜町・花畑地区  
の活用策などについて  
意見交換するワークシ

ョップを開いた。

崇城大工学部の古賀  
元也助教(36)、同大情  
報学部の和泉信生助教  
(35)、熊本高専の森下  
功啓助教(30)の3研究  
室。共同チームとして  
市の委託を受け、同地

区の街並みを3次元画  
像で再現するソフトを  
開発。10月の3日間、  
花畑広場(仮称)にソ  
フトの体験コーナーを  
設け、市民の意見など  
も集めた。

ワークショップには  
市民や学生、車椅子利  
用者ら約30人が参加。  
3次元画像や模型など  
を参考に語り合った。  
再開発ビル東側に整備  
予定のシンボルプロム  
ナードやオープンスペ  
ースについて「子ども  
が水と触れ合えるイベ  
ントを開いて」「パブ  
リックビューイング  
(PV)が開催できる  
ようにしてはどうか」  
などの要望やアイデア  
が出された。ワークシ

ョップは22日も午後6  
時から同所で開く。主  
な意見は同地区まちづ  
くりマネジメント検討  
委員会に報告する。問  
8) 2537。  
(宮崎祥一郎)